

	評価 区分	課題ID	区分	研究課題名	研究 期間	予算 区分	部会	個別 評価
1	事前 評価	2012農009	実用化 研究	新たな時代を見据えた糖業の高度化事業	24 ～ 29	一括	作物	評価
2	事前 評価	2012農011	実用化 研究	キク日本一の沖縄ブランド維持のための生産基盤強化技術開発事業	24 ～ 28	一括	野菜・ 花き	評価
3	事前 評価	2012農012	実用化 研究	次世代沖縄ブランド作物特産化推進事業	24 ～ 29	一括	野菜・花 き、果樹	評価
4	事前 評価	2012農013	実用化 研究	うちな一島ヤサイ商品化支援技術開発事業	24 ～ 29	一括	野菜・ 花き	評価
5	事前 評価	2012農014	実用化 研究	イネヨトウの交信かく乱法による防除技術普及事業	24 ～ 28	一括	作物	評価
6	事前 評価	2013農002	実用化 研究	アスパラガスの亜熱帯地域における11月生産作型の確立	25 ～ 25	県単	野菜・ 花き	評価
7	事前 評価	2013農003	実用化 研究	気候変動対応型果樹農業技術開発事業	25 ～ 30	一括	果樹	評価
8	事前 評価	2013農004	実用化 研究	野菜花き類の施設管理高度化技術開発事業	25 ～ 29	一括	野菜・ 花き	評価
9	事前 評価	2013農005	実用化 研究	おきなわ紅茶ブランド化支援事業	25 ～ 29	一括	作物	評価
10	事前 評価	2013農006	実用化 研究	県産紅茶生産支援技術開発事業	25 ～ 27	県単	作物	評価
11	事前 評価	2013農007	基礎 研究	飼料用サトウキビ栽培における乳用牛スラリーの代替肥料化技術の 確立	25 ～ 27	一括	畜産業	評価
12	事前 評価	2013農008	実用化 研究	糖蜜アルコール発酵分離液の有効利用	25 ～ 26	受託	野菜・ 花き	報告
13	事前 評価	2013農009	実用化 研究	オクラ栽培における省力的施肥基準の確立	25 ～ 26	その他	野菜・ 花き	報告

	評価 区分	課題ID	区分	研究課題名	研究 期間	予算 区分	部会	個別 評価
14	事前 評価	2014農001	実用化 研究	熱帯果樹の沖縄県オリジナル品種の育成	26 ～ 30	県単	果樹	評価
15	中間 評価	1972農006	実用化 研究	水稲奨励品種決定基本調査	47 ～ 継続	その他	作物	報告
16	中間 評価	2009農020	実用化 研究	宮古地域におけるタマネギセット栽培技術の確立	21 ～ 27	県単	野菜・ 花き	評価
17	中間 評価	2010農004	実用化 研究	サトウキビ畑を中心としたヤブガラシ類防除技術の開発	22 ～ 26	その他	作物	報告
18	中間 評価	2010農005	実用化 研究	サトウキビ株出し栽培に対応した機械化体系の検討	22 ～ 27	県単	作物	評価
19	中間 評価	2010農011	実用化 研究	種間交雑および重イオンビームによる新規パイアの育成	22 ～ 29	県単	野菜・ 花き	評価
20	中間 評価	2010農025	実用化 研究	ボタンボウフウにおける有用成分の動向解析と安定生産技術の確立	22 ～ 26	受託	野菜・ 花き	報告
21	中間 評価	2010農028	実用化 研究	農地下層における炭素長期貯留技術の開発 亜熱帯における有材心土破碎による炭素貯留技術	22 ～ 26	受託	作物	報告
22	事後 評価	1996農001	実用化 研究	病虫害総合防除対策事業	9 ～ 24	その他	野菜・花 き、果樹	報告
23	事後 評価	2008農001	実用化 研究	沖縄県産家畜ふん堆肥の肥効特性	20 ～ 24	県単	野菜・ 花き	評価
24	事後 評価	2008農015	試験・分 析・調査	シークァーサー優良系統の果樹特性調査	20 ～ 24	県単	果樹	評価
25	事後 評価	2008農112	基礎 研究	熱帯作物の花型決定に関係する遺伝子の探索	20 ～ 24	受託	野菜・ 花き	報告
26	事後 評価	2009農010	実用化 研究	露地栽培「ソフトタッチ」における高収益性栽培技術の確立	21 ～ 24	県単 国庫	果樹	評価

	評価 区分	課題ID	区分	研究課題名	研究 期間	予算 区分	部会	個別 評価
27	事後 評価	2010農001	実用化 研究	沖縄県土壌診断・施肥処方システムの構築	22 ～ 24	県単	野菜・ 花き	評価
28	事後 評価	2010農006	実用化 研究	サトウキビ苗の発芽不良に関する植物病理学的視点からの原因解明	22 ～ 24	県単	作物	評価
29	事後 評価	2010農008	実用化 研究	タイモ新品種「沖田香」の栽培および病害虫防除技術の確立	22 ～ 24	県単	作物	評価
30	事後 評価	2010農009	実用化 研究	被覆処理によるチャ品種「ゆたかみどり」一番茶の品質向上技術の開発	22 ～ 24	県単	作物	評価
31	事後 評価	2010農010	実用化 研究	サトウキビ「宮古1号」および「Ni27」における植付時期と肥培管理時期の検討	21 ～ 24	県単	作物	評価
32	事後 評価	2010農011	実用化 研究	種間交雑および重イオンビームによる新規パイアの育成	22 ～ 24	県単	野菜・ 花き	評価
33	事後 評価	2010農012	実用化 研究	おきなわブランドの産地保護に関する研究 (I) 花き類の品種識別技術開発	22 ～ 24	県単	野菜・ 花き	評価
34	事後 評価	2010農015	実用化 研究	カボチャの高品質・高収益栽培技術の確立	22 ～ 24	県単	野菜・ 花き	評価
35	事後 評価	2010農016	実用化 研究	トルコギキョウの定着条件の検討	22 ～ 24	県単	野菜・ 花き	評価
36	事後 評価	2010農018	実用化 研究	ドラセナ類の冬春期の生産性向上対策	22 ～ 24	県単	野菜・ 花き	評価
37	事後 評価	2010農020	実用化 研究	島ラッキョウ特産化事業	22 ～ 24	県単	野菜・ 花き	評価
38	事後 評価	2010農023	実用化 研究	マンゴー栽培における収穫期拡大技術の検討	22 ～ 24	その他	果樹	報告
39	事後 評価	2010農027	実用化 研究	土壌診断に基づく合理的施肥法の開発／小ギク栽培圃場におけるリン酸・カリの施用適量	22 ～ 24	受託	野菜・ 花き	報告

	評価区分	課題ID	区分	研究課題名	研究期間	予算区分	部会	個別評価
40	事後評価	2011農029	試験・分析・調査	園芸施設の補強および修繕技術の確立と保守・修繕マニュアルの作成	23 ～ 24	その他	野菜・花き	報告
41	事後評価	2012農003	実用化研究	マンゴー軸腐病のほ場防除技術の確立	24 ～ 24	県単	果樹	評価
42	事後評価	2012農004	実用化研究	シークワサー搾汁残渣を原料とした食品素材（酢抽出物）の開発	24 ～ 24	県単	果樹	評価
43	事後評価	2012農005	実用化研究	レイシの着花安定技術の確立	24 ～ 24	県単	果樹	評価
44	事後評価	2012農010	実用化研究	沖縄特産農産加工副産物を利用した機能性食品の開発に関する研究	24 ～ 24	受託	果樹	報告
45	追跡評価	2004農061	実用化研究	パパイア特産化事業	19 ～ 21	県単	野菜・花き	評価
46	追跡評価	2006農009	実用化研究	ゴレンシ生産安定技術の開発	18 ～ 21	県単	果樹	評価
47	追跡評価	2006農046	実用化研究	高機能性パインアップル品種の選定と高品質安定生産技術の確立	19 ～ 21	受託	果樹	報告
48	追跡評価	2007農011	実用化研究	宮古地域におけるさとうきび不発芽、不萌芽に起因する低収の改善	19 ～ 21	県単	作物	評価
49	追跡評価	2007農012	実用化研究	沖縄に適した泡盛用水稲品種の選抜	19 ～ 21	県単	作物	評価
50	追跡評価	2007農013	実用化研究	沖縄におけるコシヒカリIL系統の適応性評価	19 ～ 21	受託	作物	報告
51	追跡評価	2007農027	実用化研究	露地栽培における生食用パインアップル品種の適応性検定	19 ～ 21	県単	果樹	評価
52	追跡評価	2007農029	実用化研究	施設栽培に適した生食用黄色系パッションフルーツの選抜	19 ～ 21	県単	果樹	評価

	評価区分	課題ID	区分	研究課題名	研究期間	予算区分	部会	個別評価
53	追跡評価	2007農031	実用化研究	八重山地域における冬春期出荷が可能な熱帯果樹類の選定	19 ～ 21	県単	果樹	評価
54	追跡評価	2008農030	実用化研究	八重山地域のサトウキビ畑における赤土流出防止技術の開発	20 ～ 21	その他	作物	報告
55	追跡評価	2008農032	実用化研究	石灰岩砕石による酸度矯正が土壌化学性・生物性に及ぼす影響	20 ～ 21	その他	作物	評価
56	追跡評価	2009農009	実用化研究	「天草」の果実外観向上技術の確立	21 ～ 22	県単	果樹	評価